

1. 教育目標

骨髄での造血過程における異常は貧血、白血球減少、血小板減少等の血球減少を症候とする骨髄障害を引き起こし、一方、造血幹細胞の遺伝子異常は造血器腫瘍となる。また、血小板および凝固因子異常は、止血血栓系の疾患を起こす。血液病学では、これらの病態の診断および治療の向上にむけての研究を行う。また、造血幹細胞移植療法や CAR-T 細胞療法などの免疫細胞療法は造血器腫瘍をはじめとする血液疾患の有効な治療法である。安全性・有効性のさらなる向上に向けた基礎および臨床研究を進める。

2. 到達目標

- (1) 造血幹細胞の増殖、分化機構につき理解を深める。
- (2) 骨髄不全症の解析をすすめ治療について学ぶ。
- (3) 造血器腫瘍の解析を行い治療法を開発する。
- (4) 止血血栓疾患の解析と治療を行う。
- (5) 造血幹細胞移植や CAR-T 細胞療法について基礎および臨床研究を行う。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の習得度により行う。

課題におけるレポート提出（20％）、実験内容のレポート提出（15％）、口頭試問の実施（10％）、研究成果の発表（10％）、発表・討議の内容（15％）、臨床カンファでの発表（30％）

4. 教科書・参考書

特に定めないが、必要に応じて参考資料等を配布する。

5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（0.5～1時間程度）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【血液病学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	幹細胞概論	吉原臨床教授 海田助教	月曜/3限	半年	2	カンファレンスルーム
演習	症例検討	吉原臨床教授 澤田講師	水曜/5限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	造血幹細胞採取、評価、保存	吉原臨床教授 海田助教	火曜/3-4限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	細胞製剤作製	玉置准教授 井上助教	木曜/3-4限	通年	4	共同研
実験 (臨床) 研究	血液凝固の基礎的研究	澤田講師	金曜/3-4限	通年	4	2-5 研究室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	造血器悪性腫瘍	吉原臨床教授 海田助教	火曜/6-7限	通年	4	カンファレンスルーム
演習	文献抄読	吉原臨床教授 澤田講師	水曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	細胞製剤作製	玉置准教授 井上助教	木曜/6-7限	通年	4	共同研
実験 (臨床) 研究	血液凝固の臨床	澤田講師	金曜/6-7限	通年	4	2-5 研究室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	症例検討	吉原臨床教授 吉原臨床講師	水曜/5限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	骨髄不全症	玉置准教授 井上助教	金曜/1-2限	通年	4	共同研

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	造血幹細胞移植	吉原臨床講師 海田助教	月曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
演習	文献抄読	吉原臨床教授 澤田講師	水曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	造血幹細胞移植	吉原臨床講師 海田助教	金曜/6-7限	通年	4	共同研